

実習感想文

岡山大学医学部 4回生
Mさん

【期間】

2012-5-28～2012-6-1

【感想】

私は実習初日の一番最初に同行したのが死亡確認でした。その時、亡くなられた患者さんの家族の方が、時に笑いながら話をされていたのが衝撃的で、どうしてそんなに満足した様子なのか不思議に思いました。

訪問診療では小さくて狭い家から高級住宅のような家まで、様々な家に伺いました。患者さんも、在宅酸素の機械を使って動き回れる方もいれば、拘縮で手足がほとんど動かない方もいました。誰に対しても同じことをしていたのでは対応できないと分かりました。

退院前カンファレンスにも参加させていただきました。一人の患者さんを在宅でみるのに多くの職種の方が関わっているのを実際に見ると同時に介護保険の区分や患者さんとその家族の考え方を入院中から確認する事の重要性を実感しました。